



1月30日 「2024年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 東地申第39号 「新宿運輸区」提出!(その1)

職場で発生している諸問題を解決するため、以下の項目を申し入れました。
なお、東地申第32号「2024年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ「基本」も併せてご覧ください⇒



(共通)

1. 前泊の解消の為、遅日勤と早日勤の数を同数とすること。
2. 運転士・車掌の整理時間を作業実態に即した時間とするため、整理時間を以下の通り拡大すること。
 - ① 湘南新宿ライン担当の行路及び相鉄担当行路を3分拡大。
 - ② 車掌優等行路を10分拡大。
3. 東京総武地下SF詰所の廃止に伴い、乗務員待機場所が変更になる丸の内運輸区から、SF各ホームまでの徒歩ルートを明らかにすること。
4. 新宿駅第2ホームの17時以降は混雑のため、3番線を使用する平日264Mから271M列車の折り返し時分を6分以上確保すること。

(設備)

1. 新宿駅3番線設置の渋谷方車掌用10両停止位置目標のズレを改善すること。
2. 羽沢横浜国大乗務員休憩室に電子レンジを増設すること。また、ブレーカーが落ちないように電気設備の改善を行うこと。
3. E231系及びE233系の車両行先表示器の設定項目のうち、現在使用していない種別・行先を削除し、異常時折返しを想定される行先の追加を行うこと。また、自動放送についても、異常時折返しに対応する内容に更新すること。
4. E231系へ簡易案内設定を増設し、行先表示を連動させ、サボ・案内設定の簡素化を図ること。
5. 視認性向上のため、横須賀線東京駅から品川駅間の東京トンネル内上下線の制限標及びキロポストの清掃を行うこと。
6. 乗り心地向上のため、線路動揺箇所が多い横須賀線西大井駅から武蔵小杉駅間、下り第7閉そく信号機から多摩川橋梁終端間、及び上り多摩川橋梁から第6閉そく信号機間の線路の再整備を行うこと。
7. E231系及びE233系の客室トイレの故障、満水状態を長期間放置のまま営業列車として運用しないこと。
8. E231系、E233系及びE259系の車両の故障状態を直ちに解消すること。

(運転士)

1. 出区点検時間を作業実態に合わせた準備時間として設定を見直すこと。
2. 以下の行路において食事を目的とした乗務の中断時間を設定すること。
 - ① 平日1010行路 4536Yから2553Y及び2558Yから2563Yの新宿駅場面
 - ② 平日1011行路 4534Yから2551Y及び2554Yから2559Yの新宿駅場面
 - ③ 休日1004行路 4524Yから2535Yの新宿駅場面



1月30日 「2024年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ
東地申第39号 「新宿運輸区」提出!(その2)

<申し入れ内容・運転士続き>

3. 平日、休日 1010 行路の労働時間Aを平準化すること。
4. 平休、休休 1013 行路の実睡眠時間を拡大すること。
5. 休日 1015 行路の来宮駅場面、回 4627Mから回 4674Mの折り返し時間を拡大すること。出来ない場合は上 1 番線に変更すること。
6. 日中時間帯新宿駅場面成田エクスプレス担当時、交差支障が起きるため、渋谷駅での発時刻の調整もしくは運転時分の調整を行い、交差支障解消に向け検討すること。

(車 掌)

1. 5050M松本駅から甲府駅間に改札行路を設定し、2 人乗務とすること。
2. 以下の行路において食事を目的とした乗務の中断時間を拡大すること。
 - ① 全日3行路 3140M から客回 5151M の新宿駅場面
 - ② 平日 44 行路 2554Y から 2559Y の新宿駅場面
 - ③ 休日 32 行路 4835Y から 2852Y の小田原駅場面、2852Y から便 2857Y の新宿駅場面、及び便 1524E から 1831E の東京駅場面
3. 新たに小田原駅から熱海駅間を担当するに至った経緯を説明すること。
4. 以下の行路の乗務距離を 500 キロ以内に設定すること。
 - ① 平平 33 行路 ⑤平平 103 行路
 - ② 平平 34 行路 ⑥休休 33 行路
 - ③ 平平 45 行路 ⑦休休 34 行路
 - ④ 平平 102 行路 ⑧休休 103 行路
5. 以下の行路の拘束時間を 24 時間以内に短縮すること。
 - ① 全日2行路 ② 平平 32 行路 ③ 休休 33 行路
6. 13Mの利用実態に合わせて 12 両編成での運用とすること。
7. 中央線優等列車の利用状況に合わせて列車本数の拡大と、編成両数の見直しを行い、混雑緩和に向け検討すること。
8. 臨時行路でのE257 系 5 両編成担当することになった経緯を明らかにすると共に、必要な教育訓練を行うよう現場に指導すること。

安全と働きがい向上するダイヤ改正とすべく、団体交渉に精力的に臨みます!